

和歌山県景観まちづくりポータルサイト構築事業(和歌山県ふるさと雇用再生特別基金活用事業)

# わかやま 景観・まちづくり新聞

県内の景観やまちづくりに関する取り組みについて情報をお届けします。  
市町村やまちづくり団体の取り組みで記事がありましたら、ご連絡ください!

## VOL.11 2011.11.4

発行：和歌山県 県土整備部  
都市住宅局 都市政策課  
〒640-8585 和歌山市小松原通 1-1  
TEL：073-441-3228  
FAX：073-441-3232  
URL：http://www.pref.wakayama.lg.jp/  
prefg/080900/  
E-Mail：  
e0809001@pref.wakayama.lg.jp  
編集：NPO 法人 市民の力わかやま

### 和歌山市景観計画を策定

平成23年9月9日告示

和歌山市では、景観法(平成16年法律第100号)及び和歌山市景観条例(平成23年条例第25号)に基づき「和歌山市景観計画」を策定しました。景観計画で、市内全域を景観計画区域に設定(和歌山城周辺地域は、和歌山城周辺景観重点地区に指定)したことにより、市内において、一定規模以上の建築行為や開発行為などを行う場合には、事業者は、原則、行為の着手を行う30日前までに、景観法の規定による届出が必要となり、景観計画に定められた景観形成基準に適合する必要があります。

なお、和歌山市景観計画に基づく届出制度の運用開始は、平成23年12月12日からとなります。

#### 和歌山市の景観形成の目標

- (1) 紀の川の下流域に形成された山地や川、海(湾)などの豊かな自然を大切にす
- (2) 古墳・万葉の時代から城下町を経て永く積み重ねられてきた歴史・文化を再認識し、まちづくりに活かす
- (3) 日々の暮らしや活動の中で育まれる景観にもまなざしを向け、まちとの関係を意識した景観形成に取り組む
- (4) 良好な景観の形成に向けて、市民、事業者、行政が力をあわせてまちづくりに取り組む

#### 〔補足〕

和歌山市は、水量豊富な紀の川下流の平野部に位置し、東部の牧歌的な田園景観・西部の海岸線の和歌の浦・雑賀崎などの美しい自然景観を有しています。また、古墳・万葉の時代から受け継がれてきた永い歴史・文化が継承され、和歌山城を中心にした城下町が現在のまちの骨格を形づくってきました。戦災後の市民の懸命の尽力による復興を経て、紀北の中核都市として目覚ましい発展を遂げ、今日の豊かな自然と歴史・文化を背景とした和歌山市らしい景観が形成されています。

市の景観をその特性から10に類型化して、それぞれの景観としての目標像と方針を設定しました。

- ① 丘陵・里山景観
- ② 田園・農村集落景観
- ③ 河川景観
- ④ 湾・海岸の景観
- ⑤ 漁村景観
- ⑥ 城を中心としたまちまちなみ景観
- ⑦ 中心市街地のまちなみ景観
- ⑧ 住宅地等のまちなみ景観
- ⑨ 幹線道路沿道の景観
- ⑩ 工場・港湾の景観

#### 届け出対象行為の一例

建築物の新築・増改築等に対しては、その規模が高さ13mまたは建築面積が1000㎡超のものは、届出が必要となります。(景観重点地区を除く)

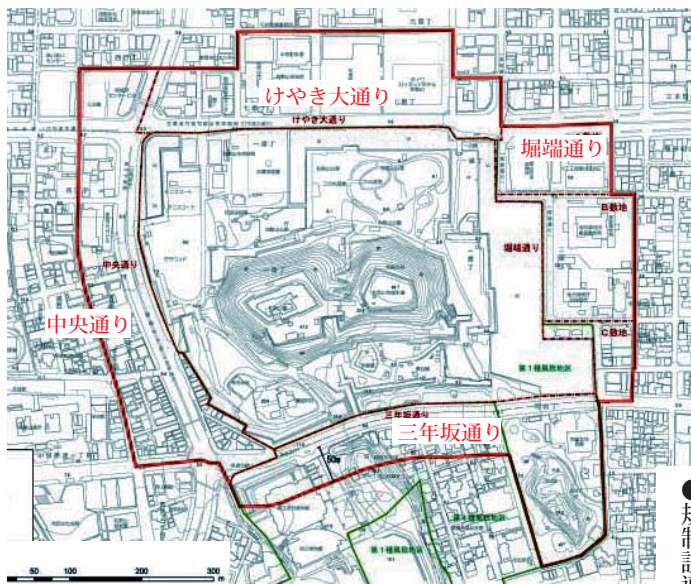
#### 景観重点地区の指定

市を象徴する景観として市民の関心も高く、市の顔となる景観上重要な地区を景観計画における「景観重点地区」に指定し、規制誘導方策等を含めた積極的な景観形成を図ります。「景観重点地区」においては、景観施策だけでなく、都市計画、中心市街地活性化、文化財、観光等の施策との連携を図り、地域活性化・再生に向けた重点的な取り組みを進めることとし、順次景観重点地区の指定拡大に取組んでいきます。

#### 和歌山城周辺景観重点地区

● けやき大通り、中央通り、三年坂通り、堀端通りの4つの通りに囲まれ、城やお堀、石垣や城内の緑などが一体的に眺望かつ体感できる範囲(42・8ha)を「和歌山城周辺景観重点地区」として指定し、より細やかな景観形成の考え方を設定します。

- 地区独自の景観形成基準を設定し、規制誘導を行います(高さ・位置・壁面位置の後退、眺望点からの眺望への配慮等)
- 規制誘導以外の取組みも推進します。



〈和歌山城周辺景観重点地区〉

届け出対象行為の一例

最高高さ(標高)の制限	
堀端通り	: 50m
けやき大通り	: 75m
中央通り	: 50m
三年坂通り	: 15m

但し、市長が景観審議会の意見を聞き、良好な景観形成に支障がないと認めた場合、基準を超えることが出来る。

公表資料は、和歌山市都市整備課(東庁舎4階)または総務課資料コーナー(本庁舎5階)で閲覧が出来ます。  
和歌山市のホームページでもご覧いただけます。  
[http://www.city.wakayama.wakayama.jp/menu\\_1/new/h23/keikankeikaku\\_sakutei/](http://www.city.wakayama.wakayama.jp/menu_1/new/h23/keikankeikaku_sakutei/)



「ふるさとフォトグラファァ」の入賞作品発表

「きのくに風景讃歌」のサイトに、「ふるさとフォトグラファァ」のページが9月1日にスタートしました。ふるさと和歌山県には、素晴らしい景観や町並み、建造物、文化遺産などが本当に一杯！あなたがお宝と感じたものを写真で投稿してください。投稿作品から、毎月入選作を選定して、サイトと「景観・まちづくり新聞」誌上で発表します。



「きのくに風景讃歌」  
<http://www.kinokuni-sanka.jp/>

9月フリー投稿



紀ノ川の黄昏(りゅうちゃん 1940-ra)  
9月テーマ投稿：田んぼ、稲、稲刈り

審査員：わかやま城下町バル実行委員会実行委員のみなさま  
説明が不要な程、とにかく色がきれいです。



台風一過(きのむくまま city!)  
台風による増水で、それまで見えなかったあらぎ島の土台の部分が石垣であることに気づかせてくれる1枚です。

10月フリー投稿



秋の夕焼け(きのむくまま city!)  
10月テーマ投稿：祭り

審査員：エビフライの「はしもと」(和歌山市八番丁)のオーナー  
あざやかな彼岸花、夕焼けが人生を感じさせる。若々しい過去、現在、そして未来。



かわいいちびっこカス(まーちゃん mokok147h2o)  
こどもの表情がよい。なんともいえない。

レトロで町おこしのヒントを

白浜町で、「広告マッチ箱展」



タクシー会社のマッチ 鉄道の時刻表が載っています。

さほど変わらないような早さ・便利さで、関西の奥座敷として人気があったのも頷けます。観光バスが30分毎に出ている充実ぶりにもビックリします。お聞きしている最中に、地元のラジオ局が取材に訪れました。地方紙にも取り上げられ、遠方からも、マッチ箱収集マニアの方が来店されたそうで、レトロの力、恐るべしと言うところでしょうか？



WBSの取材を受ける小川さん 店内の壁にマッチラベルが所狭しと貼られていました。

田辺駅前 「昭和レトロ映画ポスター展」

マッチ箱展と同じ頃、田辺駅前の「ギャラリー駅前」で「昭和レトロ映画ポスター展」が開催されました。このギャラリーは、駅前商店街に、賑わいを取り戻そうと、空き店舗を改装して9月に出来たばかりです。

今回展示されたポスターは、みなべ町の元映画館経営者が所蔵しておられた秘蔵品です。



映画ポスター展と、広告マッチ箱展とハシゴして楽しまれたというお話も伝わってきました。今、又、レトロブームが起こっています。

「夢とロマンを託して配り続けたマッチ箱」に、町おこしのヒントが隠れているような気がします。



昭和中期、映画全盛期のポスターは、団塊の世代より少し上の年代の方に懐かしいと大好評でした。



連載コラム

高橋寛治が語るまちづくり(5)

「わらじぬぎ」

会津の「大内宿」は日本の最も美しい山村である。会津若松と日光を繋ぐ会津西街道の宿場町で昔は参勤交代が通過し、街道に面して茅葺屋根の大きな民家が並んでいる。国の重要伝統的建造物群保存地区として指定されている集落では、入口

しはらく入ってゆくことを躊躇したほどの美しさであった。宿場の中ほどに復元された本陣「下郷町並み展示館」がある。この展示館の暗い片隅に置かれていくる相沢韶男さん(武蔵野美術大学教授)の手紙の中にひかれるものがあった。そこには次のように書かれていた「私がこの村に最初に来たのは、昭和42年9月末のことでした。私の郷里の水戸の藁屋根を、この大内の藁屋根職人(会津茅手)がふいていたと聞いて訪ねてきたのです。その時、泊めてもらったのが浅沼一さんの家(山形屋)で、以来、私はずっとこの家を「わらじぬぎ」と勝手に決めこんで世話になり続けてきました。いつ来ても変わらぬ気持ちで、私を迎えてくれたおかげで、私は村の生活記録をとり続けることができました。

に行ったわけだ。しかし、なにも好き好んで半年も家を留守にしたわけではなかった。あんなのよう

に、あちこち世間を歩いておれば、どっかによい冬の稼ぎに出つかすこともあるだろう。そんな時は教えてもらえぬえもんだべか。『草屋根の宿場保存をかんがえるようになったのはこの時からでした。村の人に保存を訴える一方でわたしは国内ばかりでなく、国の外に生きる人々の暮らしぶりもみてきました。飢えて母親の腕の中で子供が死んでいくところがあるかと思うと、飽食肥満の末に痩せ葉を飲んでいる人々に出会いました。世界中の人々が、自分達の古くから受け継いで来た生活と、外部から入って来た新しい

ものとの間に挟まれて悩んでいました。流行するものを一度追いかけた人々は、常に流行を追いかけなくてはならなくなっていました。私はこの村の将来に、夢を描いています。この村を訪れた人に『進歩とは何か』を問いかけるような村になつて欲しいと思っています。現在の我々の生活は、祖先の辛苦によって築かれてきました。どんなに新しいがって我々は過去を引きずって歩いていきます。過去を見つめ、足元の現在を考えることが、今、必要なのではないのでしょうか。 やつと宿場保存が軌道につきまらした。しかし、やり方を間違えると、村の人を古いものの中にとじ込めてしまうことになりかねません。

大辺路の姫祭りII加寿地藏世話人会の活動



湯川温泉から那智勝浦町の中心部に向かう山越えの熊野古道大辺路ルートに大きな掘割がありま

これから解決しなければならぬ問題が山積しています。問題の根幹

映画が完成。各地で上映会が催され、DVDも販売されています。

従来は毎年10月24日に関係者だけでひっそりと地藏の法要が営まれてきました。2年前、加寿地藏世話人会が現代代表の中田勝康さん

ここは自主制作映画のオープンセットとしても使われ、「熊野映画村」と名付けられています。昨年には『熊野伝説・加寿姫』という短編時代劇がつくられました。加寿地藏の伝説をもとに、新たに脚本をつくり、キャストやスタッフもオール地元で、約40分の手づくり



加寿地藏の祠



加寿地藏法要

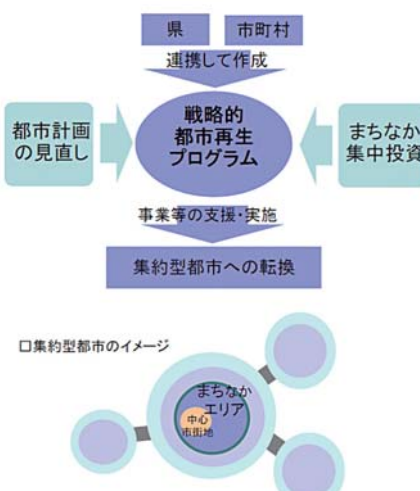
きのくに風景讃歌 (http://www.kinokuni-sanka.jp/) の「みどころ」 紀南 / 那智勝浦町 - 山エリア / 熊野古道大辺路 / 駿田峠と加寿地藏をご覧ください。

### 戦略的都市再生プログラム 県土整備部 都市政策課

県土整備部の都市政策課では、平成23年度から「戦略的都市再生プログラム」の事業に取組を開始しました。これはまちなかでの再開発事業への重点支援、都市計画の見直し等を盛り込んだ集約型都市への転換に向けた県・市町村のアクションプランを作成・実施するものです。

- プログラムの内容
- まちなかでの再開発事業への重点支援
- 市街地再開発事業等への支援
- にぎわいの創出につながる、広場、交流施設等の公益施設整備に対する支援。
- 街路等の社会資本整備の重点的な促進
- まちなか居住の推進
- 高齢者、子育て世帯のための住宅整備等への支援

- 都市計画の積極的活用
  - きめ細かな規制の強化・緩和によるメリハリのある都市構造への誘導
- 平成23年度実施事業**  
戦略的都市再生プログラムの作成及び情報発信(シンポジウム等を開催)



#### 都市政策課からシンポジウム開催のお知らせ

田辺市の中心市街地が衰退していく中、中心市街地での居住人口の増加を図ることが持続可能な都市へと繋がっていくと考えます。

本シンポジウムはまちなかでの空き家の活用方法から、まちなかでの暮らしについて、様々な立場の方が討論を行い、田辺市でのまちなかでの暮らしのスタイルを提案していきます。基調講演では、現代版家守(※1)塾の実践と啓蒙に力を注いでいらっしゃる清水義次氏をお招きして、まち全体のマネジメントを考えたまちなか居住についてお話し頂く予定です。

#### 『まちなか居住の暮らし提案』 ～戦略的都市再生プログラムに係るシンポジウム～

2011年11月20日(日) 13:30～ 16:00

- 主催 和歌山県
- 開催都市 田辺市
- 場所 田辺市役所別館3階 大会議室 (旧地域職業訓練センター)
- 基調講演 清水義次氏 (株式会社アフタヌーンソサエティ代表取締役) テーマ『(仮称)まちなか居住の提案』
- パネルディスカッション
- コーディネーター 足立基浩氏 (和歌山大学経済学部教授)
- パネリスト 真砂充敏氏 (田辺市長) 木村勝次氏 (県建協執行理事) 清水義次氏 (基調講演) 廣本直子氏 (田辺在住画家)

※1『家守』というのは一言でいうと街のエリアマネージャーです。江戸時代に土地と家屋を主に代わって、その管理人をしていたのが家守です。家守は、長屋の管理だけではなく、町内の様々なことを差配する役割も兼ねたタウンマネージャーの役割も受け持っていました。

江戸時代の家守を現代バージョンで復活させた現代版家守は、まちなかにある老朽化して空き家になっている建築物のリノベーションなどを通じて、まちなかエリア全体として価値を高めるようマネジメントしていくことによりまちの再生を行っています。

#### 「景観まちづくりシンポジウム」

日程 平成23年12月3日(土) 14:00～16:30  
和歌の浦アート・キューブ

- ◆プログラム
- 14:00 開会
- 第1部 和歌山市景観絵画コンクール 表彰式
- 14:50 休憩
- 15:00 第2部 パネルディスカッション
- ～和歌山市の素晴らしい景観を未来へ～
- <登壇者> 二丁目応援団事務局 西 祥文氏  
トンガの鼻クラブ 宮下 啓司氏  
和歌山県建築士会 中西 重裕氏  
和歌山市副市長 畠山 貴晃氏

(コーディネータ)

大阪大学名誉教授・和歌山市景観審議会会長 鳴海 邦碩氏

<定員等> 入場無料

<申込・お問い合わせ先>  
和歌山市 まちづくり局 都市整備部 都市整備課  
〒640-8511 和歌山市七番丁 23 番地  
電話番号 : 073-435-1082  
ファックス : 073-435-1367  
E-mail : toshiseibi@city.wakayama.lg.jp

<主催等>  
主催：和歌山市 協力：NPO 法人 市民の力わかやま  
後援：(株)テレビ和歌山、(株)和歌山放送、(株)和歌山新報社

#### 第5回お宝発見ウォーク in 天野

平家物語ゆかりの里めぐり

日程 平成23年12月3日(土) 13:00～16:30

<集合場所> 丹生都比神社境内

<定員等> 30名 参加無料

申込・お問い合わせは主催者まで

主催：NPO 法人 市民の力わかやま

コース

- ①丹生都比売神社
- ②六本杉 ～町石道～
- ③古峠 ～町石道～
- ④二ツ鳥居
- ⑤丹生都比売神社

「景観・まちづくり新聞」のバックナンバーは「きのくに風景讃歌」のサイトからダウンロードできます。

「きのくに風景讃歌」  
<http://www.kinokuni-sanka.jp/>



#### NPO 法人 市民の力わかやま

〒640-8215 和歌山市橋丁 2 1 番地 N 2 ビル 3 F  
TEL/FAX 073-428-2688  
URL <http://shimin.or.jp/>  
e-mail [info@shimin.or.jp](mailto:info@shimin.or.jp)  
受付時間 月～金 9:30～16:30 ※土日祝休み